

平成24年度「瀬戸内海研究フォーラム in 岡山」

## 流域と外洋をつなぐみち ～はるかなる文化の回廊～

### 1 趣旨

瀬戸内海は古来より西方・大陸文化が我国に初めて渡来する「みち」の始末端であった。そして、現在も流域と外洋の間で水・エネルギー・土砂・栄養塩を受渡しする「みち」の役割を果たす。大規模災害の被災に対し緩和機能に限度があることは事実であるが、その調節作用により里海は一定の生産性を維持している。例えば、流域に堆砂が発生すれば流出土砂は細粒化し、潮流に浮上して透明度を減少させ、水深減少は航行、波浪・津波の波高に影響する。水質・底質問題と自然災害問題は根底で相互に深く関連しており、共通の広い枠組の中で議論すべきである。今回は過去大会の講演の傾向を考慮し瀬戸内の歴史と現況に基づいて、近未来の暮らしと、継承すべき文化について関連づけを行うものである。

### 2 開催日時・場所

平成 24 年 8 月 30 日（木）13:00～18:45

31 日（金） 9:30～17:00

岡山大学五十周年記念館

岡山県岡山市北区津島中 1 丁目 1 - 1 TEL : 086-251-7057

### 3 主催等(予定)

主催:瀬戸内海研究会議 共催:瀬戸内海環境保全知事・市長会議

協賛:(社)瀬戸内海環境保全協会

後援(予定):環境省、岡山県、岡山市、(財)福武学術文化振興財団

岡山大学、岡山理科大学

マスコミ・NPO関係

### 4 プログラム

- 1 日目 13:00～13:25 開会
- 13:30～15:30 第 1 セッション「外海からもたらされるもの」
- 15:30～15:45 休憩
- 15:45～18:15 第 2 セッション「流域・沿岸環境の保全と創成の研究並びに活動報告」(ハイブリッド方式のポスター発表)
- 18:00～18:45 瀬戸内海研究会議総会
- 19:00～20:30 懇親会
  
- 2 日目 09:30～11:30 第 3 セッション「流域から里海への流入負荷」
- 11:30～12:30 休憩
- 12:30～14:30 第 4 セッション「里海エネルギーと資源の活用」
- 14:30～14:40 休憩
- 14:40～16:40 第 5 セッション「海をわたる文化と里海の暮らし」